

専攻科 2月18日（水）

第20回講座 「自然観察の知識と実践（2）」

講師 北澤光子氏（技術士 環境）

日時 平成27年2月18日（水）10:00～15:00

場所 市川市大町自然観察園

テーマは、冬の谷津の自然を観察する

北澤光子講師による自然観察について学ぶ講座。この日は降雪が危ぶまれたが小雨に変わったので、講座は予定通りに市川市の自然観察園で行われた。専攻科最後となる。前回の講座では、7月初旬の暑い季節に長田谷津を訪れ観察した。蔦類など夏草が辺り一帯を被っていたが、その草もすっかり枯れて、辺りが見渡せる程に様変わりしていた。

夏に見た谷津の自然と比較して、この季節でないと難しい自然観察についていろいろと教えてもらった。葉を落とした落葉広葉樹、落ち葉の秘密、寄生する昆虫のこと、越冬する昆虫の生態（オトシブミ、ミノムシなど）、アカガエルの産卵、鳥の混群などを見聞した。午後からは、拾ってきた植物の実について講師からの解説を聞き、関東でよく見かける7種のドングリ（コナラ、クヌギ、マテバシイ、スダジイ、アカガシ、シラカシ等）の実の見分け方などを学んだ。



冬の季節に産卵を始めるヤマアカガエル。産卵場所の池まで案内してもらい寒天質に包まれた卵を観察した。



冬枯れの谷津の谷間には豊かな湧水が小川となって流れていた。水量が豊かなことに驚かされた。



冬の大町自然観察園の自然



夏（7月2日）に訪れた時の観察園の自然



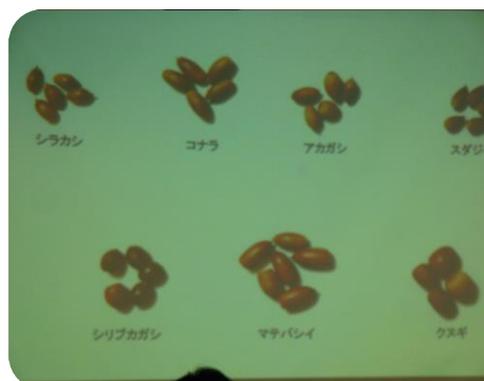
鳥の混群を撮ろうとシャッターを切ったがご覧の通り。ジュウシマツと他の鳥が飛来していた。



谷間の中央を流れる湧水の流れ



参考図書「ぼくのどんぐり図鑑」



7種のどんぐりの特色を観察した。良く似ていて分類するに一苦労した。